

「“避難したくなる避難所”を自分たちでつくろう！」

本単元で育成する資質・能力

スキルアップ, 表現力, 協働

- 1 日時 令和3年 7月 15日 5校時
 2 場所 3年 1組 教室
 3 学級 第3学年1組 33名(男子17名 女子16名)

単元について

本単元は、全80時間の第3学年の総合的な学習の時間の中で、「地域」「防災・減災」をテーマに実施する、第3学年の総合的な学習の時間の導入部分にあたる単元である。

『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編』には、総合的な学習の時間の目標を達成するにふさわしい探究課題として4点示されている。そのうちの「地域や学校の特色に応じた課題」として、本単元を設定した。

熊野町は、平成30年7月豪雨の際に甚大な被害を受けた。本校にも被災し、しばらく避難所生活を送った生徒がいる。被災の記憶を風化させず、いつ再び起こるかわからない災害に備えるとともに、いざというときに確実に命を守る行動をとる力を身に付けさせることが必要である。また生徒が生活している地域において、防災・減災について、生徒自身が自己の生き方との関わりで考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動していくことは、地域全体の願いでもある。本単元を通じて、普段から災害に備える行動をとり、災害時には迅速に避難することによって自分や身近な人たちの命を守るとともに、地域全体の防災・減災の担い手として行動できる力を育成したい。

生徒の実態

次の表は、本校で定期的に行っている生徒アンケートにおいて、総合的な学習の時間および本校で育成する資質・能力に関わる項目について本学級の生徒の回答を抜粋したものである。(32名回答)

質問項目 (括弧内は、本校で育成する資質・能力)	肯定的回答(人)		否定的回答(人)		肯定的回答 (%)	否定的回答 (%)
	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない		
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	10	15	6	1	78.1%	21.9%
授業や勉強をするときに、各教科の知識・技能がスキルアップできるように意識しています。(スキルアップ)	15	11	6	0	81.3%	18.8%
自分の特徴や長所・短所を客観的に好意的に見取り、成長のために何が必要か考えていると思います。(自己分析)	10	18	4	0	87.5%	12.5%

自分で考えたことを、相手にわかりやすく伝えて いると思います。(表現力)	9	15	5	3	75.0%	25.0%
自他の考えを客観的に分析し、他者の考えを取り 入れながら多角的・多面的に考えていると思いま す。(クリティカルシンキング)	9	18	5	0	84.4%	15.6%
友人同士や教員、地域社会など対話的な活動を 行いながら、協働する態度や姿勢を持っていると 思います。(協働)	10	18	4	0	87.5%	12.5%
何事に対しても、主体的に意欲的に取り組み、チ ャレンジ精神を持っていると思います。(前向き)	11	16	4	1	84.4%	15.6%

総合的な学習の時間に限らず、本学級の生徒の多くが意欲的に授業に参加している。とくに、班活動を仕組むと、積極的に意見を出し合い、協力して課題解決に取り組む姿が見られる。総合的な学習の時間においても、本格的に導入されたタブレット端末も活用しながら、情報を集め整理したり、スライドにまとめ発表したりするなどの活動に取り組んでいる。しかしながらアンケートの総合的な学習の時間についての項目では、肯定的評価が78.1%と8割に達していない。アンケートは今年度の総合的な学習の時間がスタートする前にとったものであるため、本単元終了後にもう一度アンケートを取り、検証するものとする。

本校で育成する6つの資質・能力について、もっとも肯定的評価の割合が低かったのが「表現力」についての質問項目である。本学級の生徒は、自分の考えをワークシート等にまとめる力は身につくにつれ、その多くが求められる内容を文章で説明することができる。しかしながら、学級全体に自分の意見を説明することには苦手意識を持ち、自分から発表することに抵抗を感じている生徒も多い。授業内では発言させる前に班で確認させるなどの支援を行うとともに、総合的な学習の時間のみならず、他の教科や生徒会活動等、教育活動全体を通して、表現力の育成に取り組んでいく必要がある。

単元の指導

今年度の本校の研究テーマ「主体的・対話的に深く学ぶ生徒の育成～探究的な学習を通して～」および、第一小学校・第三小学校と合同で取り組む令和3年度探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業の研究テーマ「小中学校で系統性をもたせたよりよい自分を創造するための地域を題材とした単元の開発」を受けて、次の3点に重点を置いて指導を行う。

第一に、地域を題材とし、小中学校で系統性を持たせた単元とすることである。「防災・減災」に関わる学習は、小学校段階でも取り組まれている。そこで中学校段階では、小学校での学習をふまえ、より発展的・実践的な学習となるよう単元を構想した。本単元では地域の「避難所」に焦点化し、迅速に避難するだけでなく、避難した先でも避難所運営の一員として“戦力になる”ことができるよう、「避難所で役に立つ人になる」ことを、目標に入れている。

第二に、主体的に学べるよう、地域社会との関わりを意識させ、自分事として捉えさせ

る活動を仕組むことである。避難訓練の際に地域の避難所について紹介していることをふまえ、本単元では、地震の際は本校が避難所となることを伝え、実際に本校が避難所になる想定で、自分たちが運営者の立場となる避難所運営ゲームに取り組みさせる。また熊野町防災安全課の全面協力のもと、新設された熊野東防災交流センターの見学および避難所設営体験を行い、実際に避難所となる施設の中で活動させることによって、避難所で自分たちができることについて、教室での学習内容と体験を結び付けて“自分事”として考察し、提案にまとめていけるような授業展開を構想した。

第三に、表現力の育成に資する単元とすることである。「生徒の実態」に詳述したように、本学級の生徒には「表現力」について課題がある。そこで、本単元の学習は基本的に3～5人までの小グループを単位とし、自分の考えをもとにグループ内で話し合い、意見をすり合わせたりまとめたりする活動を中心に進めていくものとする。体験学習もグループを単位とし、コミュニケーションを取りながら協力・協働する活動を中心とする。また単元の「まとめ・表現」の段階では、スライドを使ってより多くの人に伝える活動を仕組んでいる。

単元の目標

日頃から災害に備える意識を涵養し行動するとともに、災害時には迅速に避難し、中学生の自分たちにできる最大限の方法で避難所運営に参画できるようにする。

- 日頃から災害に備える行動をとる。
- 災害時には迅速に避難する。
- 避難所で役に立つ人になる。

単元の評価規準

評価の観点	ア 【知識・技能】	イ 【思考・判断・表現】	ウ 【主体的に学習に取り組む態度】
本校で育成する 資質・能力	スキルアップ	表現力	協働
評価規準	① 防災・減災についての知識・技能を身に付け、日頃から災害に備える行動をとることができている。	① 災害時、迅速に避難する意識を持っている。 ② 防災・減災について自分の考えを持ち、相手にわかりやすく伝えている。	① 災害時、避難所で進んで行動しようとしている。 ② 防災・減災について班で協力して活動し、提案をまとめようとしている。

		(4時間)			
三	<p>整理・分析</p> <p>○どんな場所なら避難したくなる？ ～アイデアをまとめ、提案する準備をしよう！～</p> <p>(めあて) 災害時に迅速に“避難したくなる避難所”にするための提案を、班で協力してまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を振り返りながら、Jamboard を活用し、班ごとに避難や避難所に関わる課題、改善が必要なことを挙げる。 ・班ごとに解決や改善に取り組む内容を1つ決め、提案内容をまとめる。 ・発表用スライドと原稿を分担して作成する。 <p>(4時間)</p>		○	◎	<p>イ② (観察, ワークシート)</p> <p>ウ② (観察, ワークシート, スライド)</p>
四	<p>まとめ・表現 【本時1/3】</p> <p>○アイデアを発表しよう！</p> <p>(めあて) 各班の提案を聞き、中学生としてできることを具体的に考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級発表会を行い、班でまとめた提案を全班発表する。 ・発表を聞いて考えたことをまとめる。 ・学級代表として提案する内容を精選し、発表準備を行う。 ・Meetで各学級をつなぎ、町防災安全課や町長、地域の方を招いて提案内容を発表する。 <p>(3時間)</p>		○	◎	<p>イ② (発表, ワークシート)</p> <p>ウ② (観察, 発表, ワークシート)</p> <p>ア① (ワークシート)</p>

本時の学習（12／14 時間）

（1）本時の目標

“避難したくなる避難所”を実現するための提案をわかりやすく伝えさせるとともに、他班の発表を聞くことで、地域で中学生としてできることを考えさせる。

（2）本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） 「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て（◆）	評価規準 (評価方法)
1 導入（3分）		
○ 本時のめあてを示し、前時までの学習をふまえ、各班でまとめた提案内容を発表することを確認する。	◇ 提案をわかりやすく伝えることと、他班の提案を聞いて中学生として自分ができていることを考えることの両方を意識するよう伝える。	
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">本時のめあて</div> 各班の提案を聞き、中学生としてできることを具体的に考える。		
2 展開1（35分）		
○ 各班でまとめた提案内容を発表する。	◇ 事前にスライド操作と発言者の役割分担をさせておく。 ◇ 発表間を1分取り各班の提案について、タブレットからコメントを入力させる。 ◆T2 がタブレット操作のサポートをする。	ウ②（観察、発表、ワークシート）
3 展開2（10分）		
○ 各班の発表の感想をまとめるとともに、“避難したくなる避難所”をつくるために、中学生としてできることを考え、まとめる。	◇ 提案内容をふまえ、自分が地域でできることを考え、文章にまとめさせる。 ◆ 書きにくい様子の生徒には、具体的な場面を想定するよう声掛けする。	ア①（ワークシート） イ②（発表、ワークシート）
【「概ね満足できる」状況（B）と判断する根拠】 避難所で中学生としてできることや、避難所をよりよいものにするための考えを具体的に説明している。 〈記述の例〉避難所が多くの人にとって過ごしやすい場所になれば、素早く避難することにつながると考える。避難所では、食事の準備や配膳の手伝い、幼児の遊び相手や高齢者の話し相手になるなど、自分にできることを積極的にしていきたい。		
【「十分満足できる」状況（A）と判断する根拠】 (B) の状況に加えて、いざというときすばやく避難するための工夫など、日常生活における工夫や行動についても説明している。		

【「配慮を要する」状況（C）と判断される生徒への手立て】
各班の発表内容を振り返らせ、まずは箇条書きで挙げさせる。

4 まとめ（2分）

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習のまとめをする。 ○ 次時の学習内容の確認をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ めあてに対する本時の振り返りを自己評価カードに記入させる。 |
|---|---|

（3）板書計画

本時のめあて 提案を聞き、中学生としてできることを具体的に考える。

単元「避難したくなる避難所を自分たちでつくろう！」

② アイディアを発表しよう！～学級発表会～